

第五次レッドリスト（案）に対する意見の募集について

愛知県では、生物多様性の保全を推進するため、現在、レッドリスト（絶滅のおそれのある野生動植物の種のリスト）の見直し作業を進めており、このたび第五次レッドリスト（案）を取りまとめました。

つきましては、県民意見提出制度（パブリック・コメント制度）に基づき、下記のとおり、県民の皆様からの御意見を募集いたします。

なお、今回のレッドリストのポイントについては裏面を御覧ください。

記

1 意見募集期間

2024年11月15日（金）から2024年12月14日（土）まで

※ 郵送の場合は、当日必着



ヒナラン 絶滅危惧IA類（GR）

2 意見の提出方法

お住まいの市町村名、年代、意見を御記入の上、意見記入用紙（愛知県環境局のウェブページからダウンロードできます。以下3参照）を参考に、郵便、ファクシミリ又は電子メールのいずれかの方法により、以下6の提出先に提出してください。

※ 電話での御意見については対応できません。御了承ください。

3 資料の閲覧方法

愛知県環境局ウェブページ（<https://www.pref.aichi.jp/press-release/redlist5th-pub.html>）から閲覧及びダウンロードができます。

また、環境局環境政策部自然環境課、環境調査センター企画情報部、県民相談・情報センター、各県民相談室、海部県民事務所広報コーナー、知多県民事務所広報コーナー及び新城設楽振興事務所広報コーナーにおいて第五次レッドリスト（案）を閲覧できるほか、併せて概要資料をお渡しすることができます。

4 御提出いただいた意見への対応

- （1）第五次レッドリストを取りまとめる際の参考とさせていただきます。
- （2）提出いただいた御意見に対して個別に回答はいたしません。
- （3）提出いただいた御意見は、個人情報を除いて公表する場合があります。

5 留意事項

セン類、タイ類、クモ類の3分類群については、愛知県絶滅危惧種等調査検討会で担当の委員が不在となっており、第五次レッドリスト（案）において見直しを行っておりません。そのため、今回意見を募集する対象から除外させていただきます。

6 提出先

愛知県環境調査センター企画情報部

郵便：〒462-0032 名古屋市北区辻町字流7番6

F A X：052-991-6241

メール：kankyo-c@pref.aichi.lg.jp

◇ 第五次レッドリスト（案）のポイント

○ 絶滅のおそれのある種（絶滅危惧Ⅰ類及びⅡ類）の数は、現行の第四次レッドリスト「レッドリストあいち 2020」と比較し、57種（植物24種、動物33種）増加し950種（植物553種、動物397種）となっており、このうち特に昆虫類は20種増加し100種となっています。主な増加理由は、河川敷等改修などによる生息生育環境の悪化、以前生息が確認できていた地域で生息が確認できなくなったことなどです。

また、県内で既に絶滅した種の数、植物が2種減少し、動物が12種増加しています。植物では、絶滅した種が2種増加した一方、これまで絶滅したと評価されていたものの4種の生育が再確認されました。

○ 新たにレッドリストに掲載又は評価区分が変更された代表的な種

● ヒナラン（維管束植物） 絶滅（EX）→絶滅危惧ⅠA類（CR）

県内での生育が再確認された。

● コヨシキリ（鳥類） リスト外 → [繁殖] 絶滅（EX） / [通過] 絶滅危惧ⅠA類（CR）

干拓地・埋立地のヨシ原の乾燥化等により繁殖・生息環境が激減している。

● ゲンゴロウ（昆虫類） 絶滅危惧ⅠB類（EN）→絶滅危惧ⅠA類（CR）

かつての生息地で最近全く確認されていない。

● バイ（貝類） 絶滅危惧Ⅱ類（VU）→準絶滅危惧（NT）

回復傾向が著しい。底引き網漁では普通だが干潟にまでは回復していない。

【参考】

（1）レッドリスト見直しの背景

野生動植物を取り巻く状況は、開発等による土地の改変、植生遷移の進行、外来種の侵入、シカの食害などの様々な要因により変化していることから、絶滅のおそれのある野生動植物の状況を的確に把握するために、定期的にレッドリストの見直しを行う必要があります。

本県においては、2000～2001年度に第一次レッドリスト、2007年度に第二次レッドリスト、2014年度に第三次レッドリスト（レッドリストあいち2015）、2019年度に第四次レッドリスト（レッドリストあいち2020）を公表しており、この第四次レッドリストを基に第五次レッドリストの作成を進めてきました。

（2）レッドデータブックについて

レッドデータブックとは、レッドリストのランクをもとに、種ごとに生態や分布状況等の解説を加え、体系的に取りまとめたものです。

本県では、2001年度に「レッドデータブックあいち」を初めて作成し、2008年度に第2版となる「レッドデータブックあいち2009」、2019年度に第3版となる「レッドデータブックあいち2020」を作成しました。